



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2025年3月期 第1四半期決算説明会

取締役専務執行役員 CFO 渡邊明 | 2024年8月7日

01 決算概要

決算業績の概観

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

連結業績

- 売上高：**1,169億円**
4期連続で1Q過去最高を更新
- 営業利益：**110億円**
計測中国回復遅れ、成長投資増により減益

重点機種

- 計測重点機種
中国を除き、海外の製薬、臨床分野を中心に伸長、
合計で3%成長(中国を除けば9%増)
- 産業/ターボ分子ポンプ (TMP)
半導体向けが大幅に増加し**27%成長**

*計測重点機種3機種：LC（液体クロマトグラフ）、MS（質量分析システム）、GC（ガスクロマトグラフ）

セグメント別

- 計測：**増収減益**/中国回復遅れ、成長投資増
- 医用：**増収増益**/北米回復、中国回復遅れ
- 産業：**増収増益**/半導体向けTMP大幅増加
- 航空：**増収増益**/防衛・民間航空ともに大幅増加

地域別

- 全社：中国を除き増収
 - 日本：計測、産業、航空で増加
 - 北米：全セグメントで増加
 - 欧州：計測、医用、産業で増加
 - 中国：市況回復遅れで、計測と医用が厳しく推移
 - その他のアジア：全セグメントで増加

業績サマリー

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

売上高	1,169 億円	前年同期比	+7 %
営業利益	110 億円	前年同期比	▲17 %
営業利益率	9.4 %	前年同期比	▲2.8 pt
当期純利益	100 億円	前年同期比	▲10 %

為替

為替影響額

研究開発費

設備投資

減価償却

米ドル : 155.93円
(+13%)
ユーロ : 167.93円
(+12%)

売上高 : 83 億円
営業利益 : 22 億円

前年同期比
68 億円 +19 億円

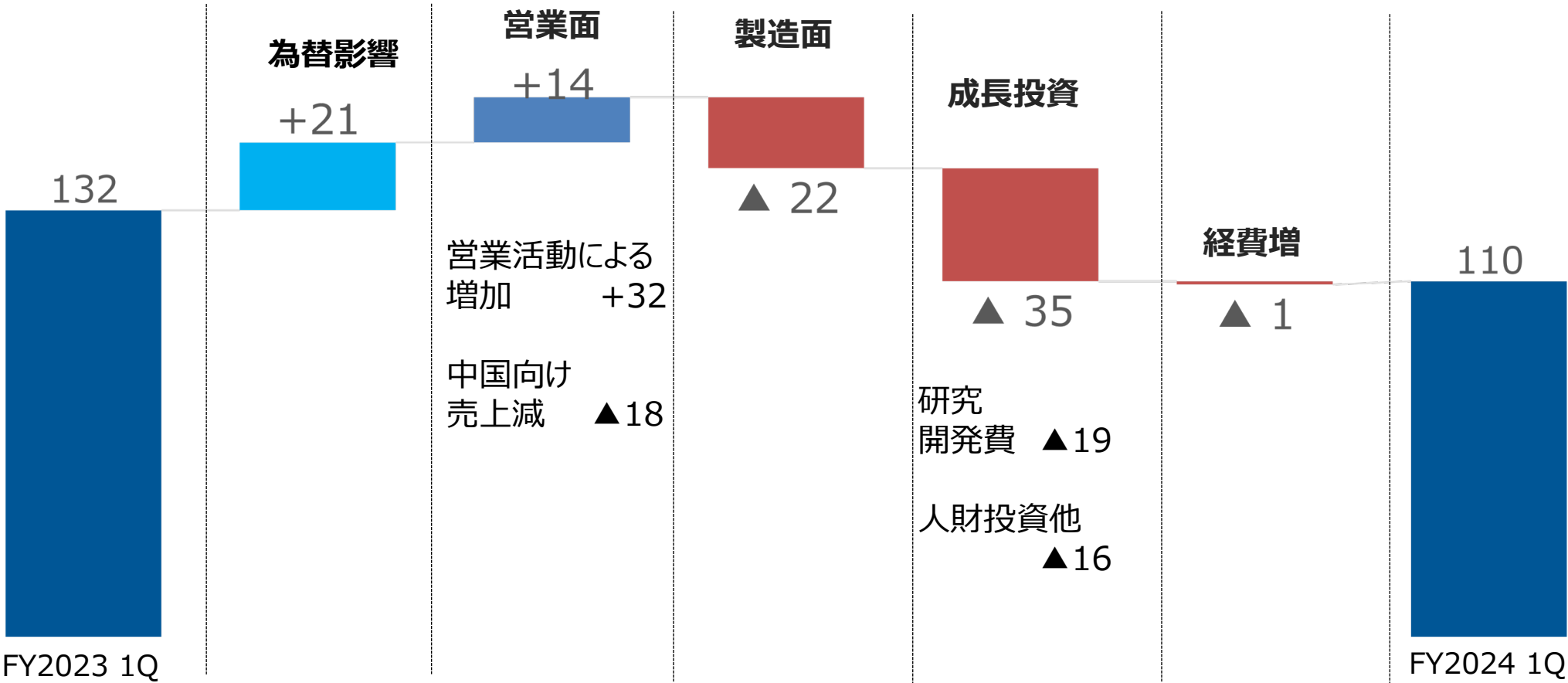
前年同期比
42 億円 ▲15 億円

前年同期比
48 億円 +3 億円

連結／営業利益増減要因

- 営業面 : 付加価値訴求（価格改正）で実質売上減影響をカバー +14億円
- 製造面 : 生産抑制による工場収支影響など ▲22億円
- 成長投資 : 研究開発費、人的投資、M&A、DXなどの成長投資 ▲35億円

(億円)



セグメント別損益

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 計測、産業、航空の売上高が過去最高
- 産業、航空の営業利益が過去最高

計測／売上高（過去最高）
・重点機種は製薬・臨床で増加

医用／売上高
・注力している血管撮影システムが増加

産業／売上高（過去最高）
・半導体向けTMPが大幅に増加

航空／売上高（過去最高）
・防衛、民航ともに大幅に増加

計測／営業利益
・中国が大幅減益
・成長投資増加

医用／営業利益
・成長投資増加

産業／営業利益（過去最高）
・増収効果に加え、高利益率の半導体向けTMP比率増加

航空／営業利益（過去最高）
・増収効果に加え、採算性改善が継続

単位 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2022	FY2023	FY2024	前年同期比		FY2022	FY2023	FY2024	前年同期比		FY2022	FY2023	FY2024	前年同期比 増減
				増減額	増減率				増減額	増減率				
計測機器	618	714	738	+24	+3%	84	108	73	▲35	▲32%	13.5%	15.2%	9.9%	▲5.2pt
医用機器	164	144	155	+11	+7%	2	0	1	+0	+97%	1.5%	0.3%	0.5%	+0.2pt
産業機器	146	147	175	+28	+19%	13	19	27	+7	+37%	8.9%	13.2%	15.2%	+1.9pt
航空機器	48	62	87	+25	+40%	1	6	13	+7	+124%	2.4%	9.5%	15.2%	+5.7pt
その他	10	25	15	▲11	▲42%	▲1	2	▲2	▲4	-	▲3.4%	5.7%	▲8.6%	▲14.3pt
調整額	-	-	-	-	-	▲5	▲3	▲3	-	-	-	-	-	-
合計	986	1,092	1,169	+77	+7%	94	132	110	▲23	▲17%	9.6%	12.1%	9.4%	▲2.8pt

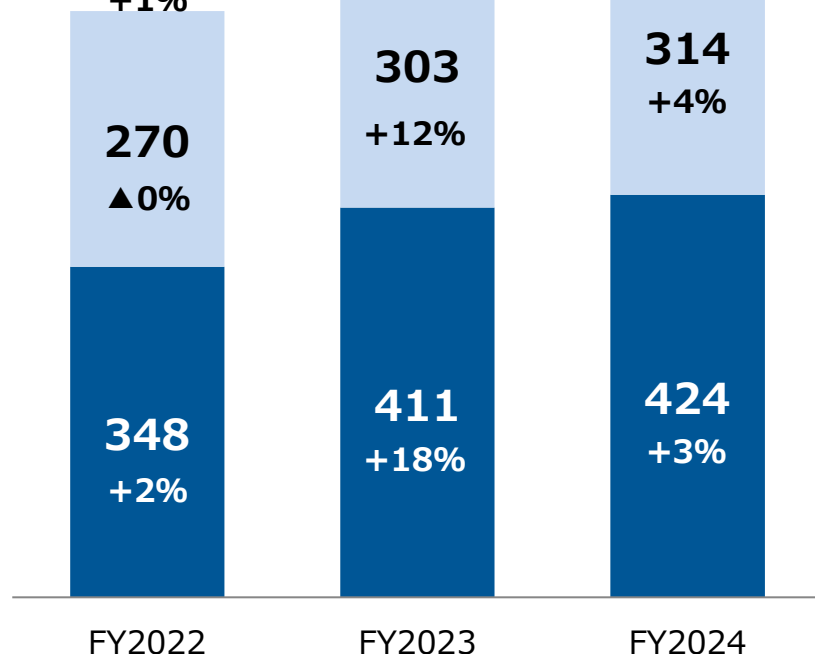
【事業環境】ヘルスケア：＜製薬＞日本は堅調、北米は回復基調、インドは拡大が継続
中国は創薬、受託分析は厳しい状況だが、回復傾向
＜臨床＞欧州が拡大。北米は臨床受託分析市場が回復傾向
グリーン：グローバルで脱炭素に向けた投資が継続

(億円)

売上高

■ 重点機種

■ その他 618
+1%



重点機種

売上高424億円 (+3%)

LC：日本、北米、インドで製薬分野で増加。中国は減少
MS：日本で医薬向け、欧州で臨床向け増加。中国は減少
GC：日本、欧州でグリーン向け増加

その他

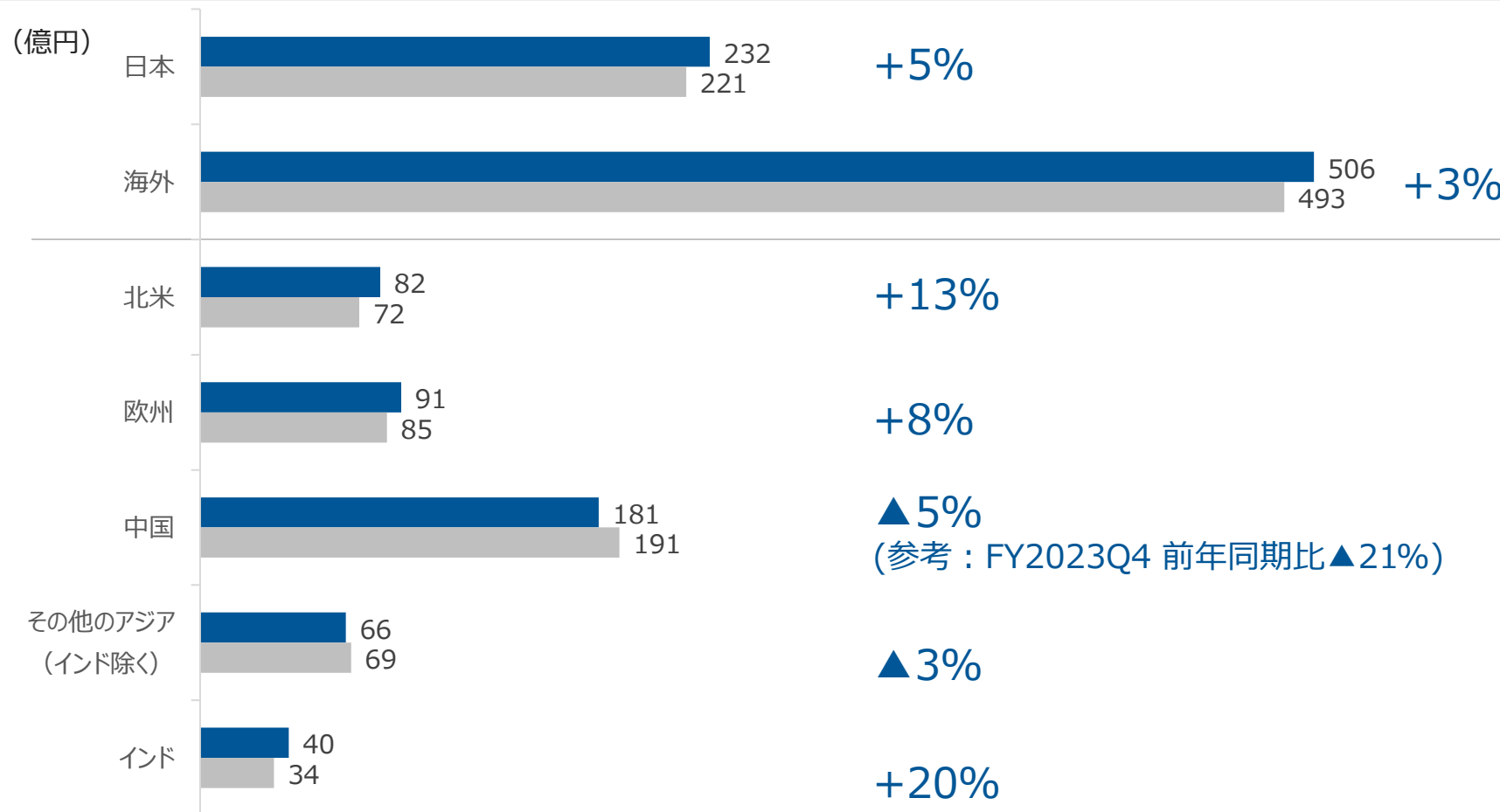
売上高314億円 (+4%)

試験機：新素材向けで増加

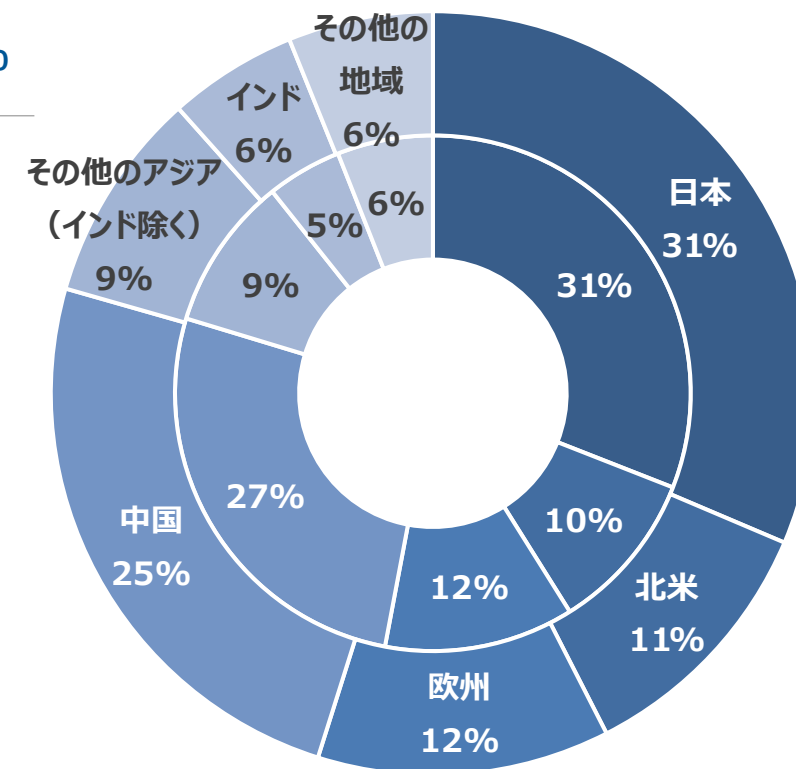
計測機器／地域別売上高

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 日本：重点機種が11%増と好調。新素材向けに試験機が増加
- 海外：北米が製薬と特定顧客向けで増、インドは好調継続、中国と前年特需があったその他のアジア（韓国）が軟調



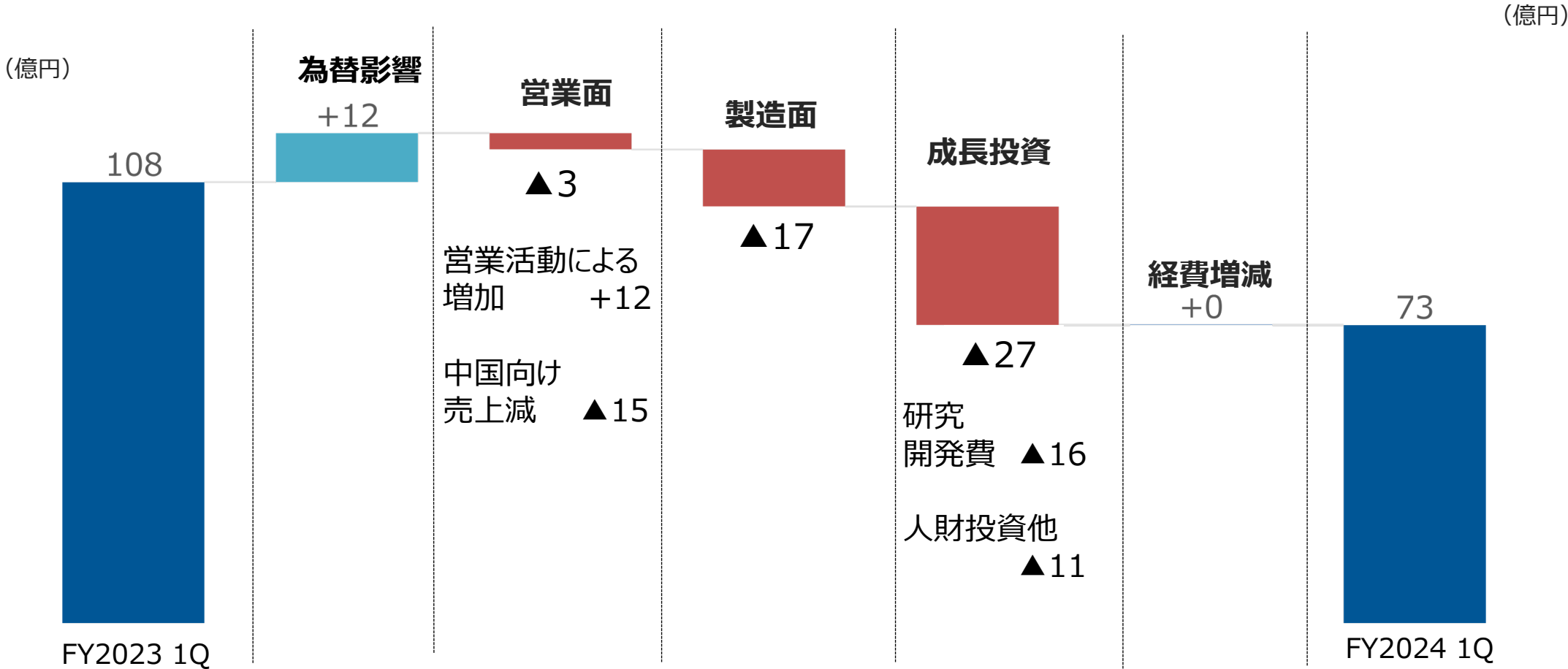
■ FY2024 ■ FY2023 ※%は前年同期比



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

計測機器／営業利益増減要因

- 営業面 : 付加価値訴求（価格改正）を推進したが中国向け売上減に伴う粗利減を補えず ▲ 3億円
- 製造面 : 生産抑制による工場収支影響など ▲ 17億円
- 成長投資 : 研究開発費、人的投資、M&A、DXなどの成長投資 ▲ 27億円

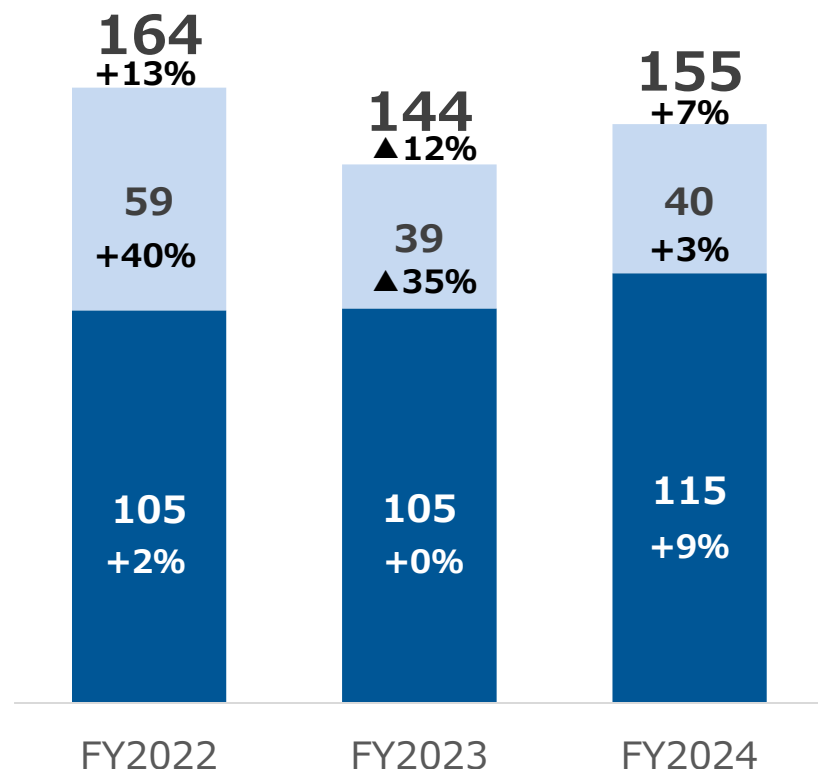


【事業環境】 北米は回復基調、日本は想定より回復遅れ、中国は腐敗防止運動や政府支援策実施前の買控え等で低調

売上高

(億円)

■ X線 ■ その他



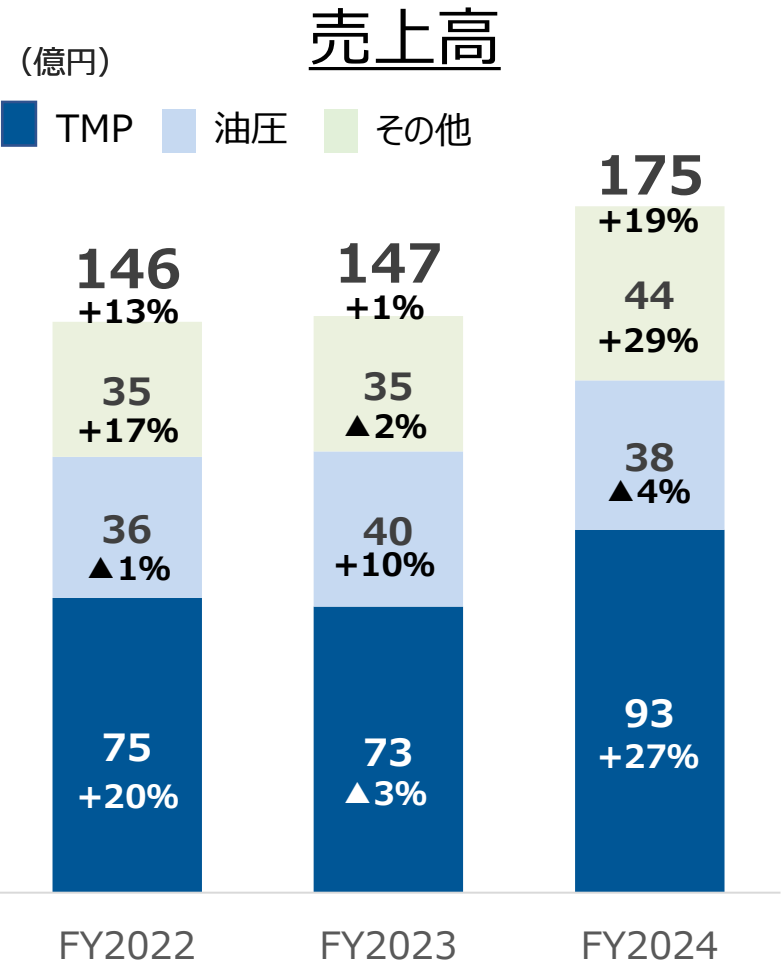
X線 売上高115億円 (+9%)

一般撮影：パワーアシスト機能やシンプルな操作により省力化を実現した新製品が増加
X線TV：北米で近接型が増加。日本、中国で減少
血管撮影システム：低被ばくで高画質が評価されグローバルで増加

その他 売上高40億円 (+3%)

日本、北米でサービス向け部品が増加

【事業環境】 TMP：半導体製造装置向け需要が回復、グリーン市場向けは中国の太陽電池在庫拡大などにより減速
油圧：建機市場が弱含み



TMP

売上高93億円 (+27%)

- 半導体製造装置向けが30%以上伸長
- 受注も+40%と好調

油圧

売上高38億円 (▲4%)

- 特装車両向けが増加
- 小型建機向けが減少

その他

売上高44億円 (+29%)

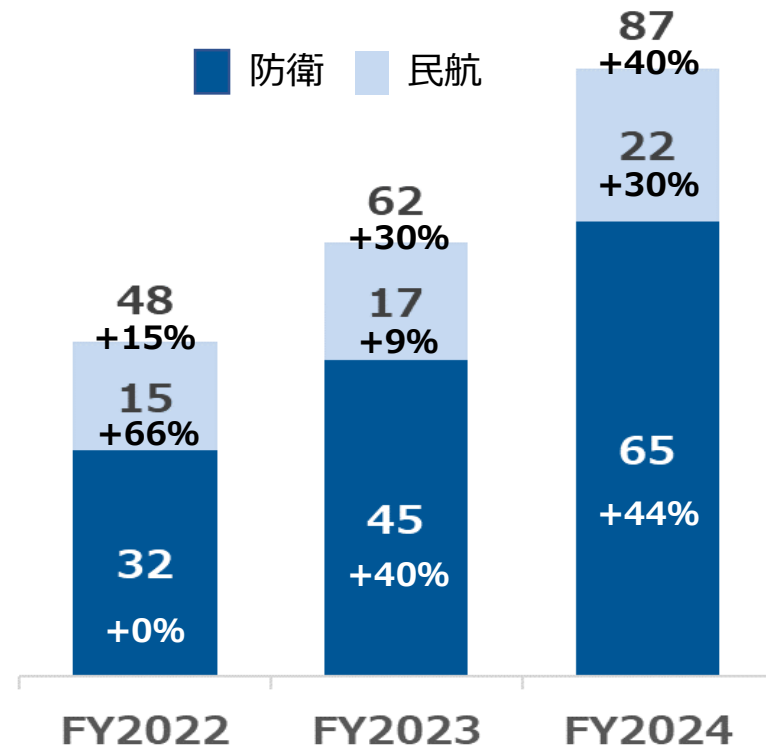
- 車載用セラミック製造向け工業炉が増加

【事業環境】 防衛：政府の防衛力強化方針により需要が拡大

民航：航空旅客需要の増加に伴い、民間航空機向け搭載品や航空会社向け補用部品の需要が拡大

売上高

(億円)



防衛

売上高65億円 (+44%)

- 政府の防衛力強化方針により需要が拡大し、大幅に増加

民航

売上高22億円 (+30%)

- 機体会社向けの搭載品や、エアライン向けの補用部品が増加

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を「産業機器」へ移管。

FY2024、FY2023の数値、ならびにFY2024/FY2023前年同期比を変更後のセグメント区分に組み替え。

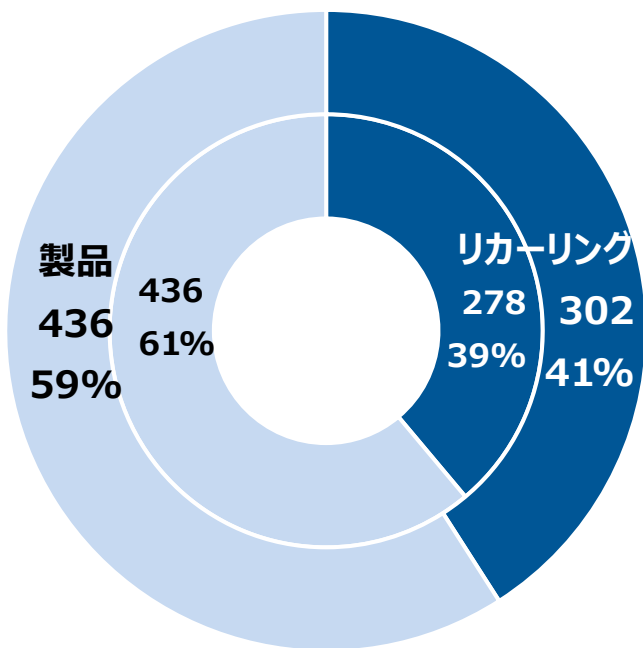
リカーリング

【計測】売上高302億円・前年比 9%増：LC,MSのメンテナンスサービス増加

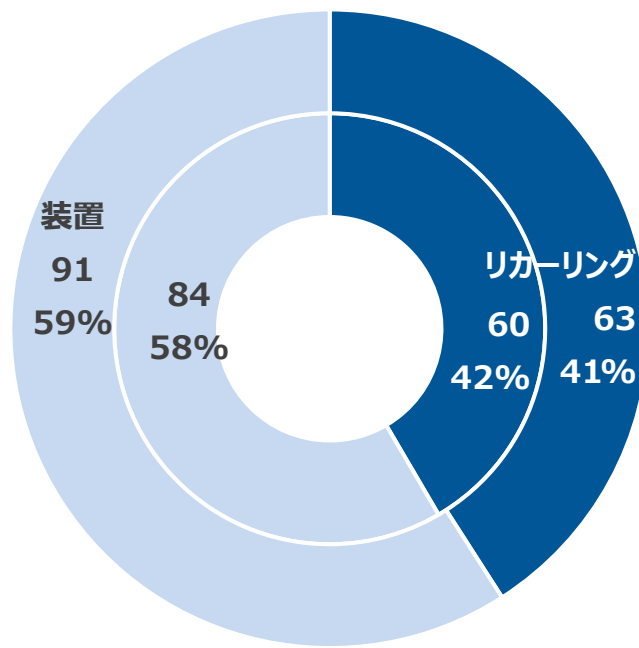
【医用】売上高 63億円・前年比 6%増：XTV、血管撮影システムのメンテナンスサービス増加

【TMP】売上高 17億円・前年比57%増：半導体製造装置搭載品のメンテナンスサービス増加

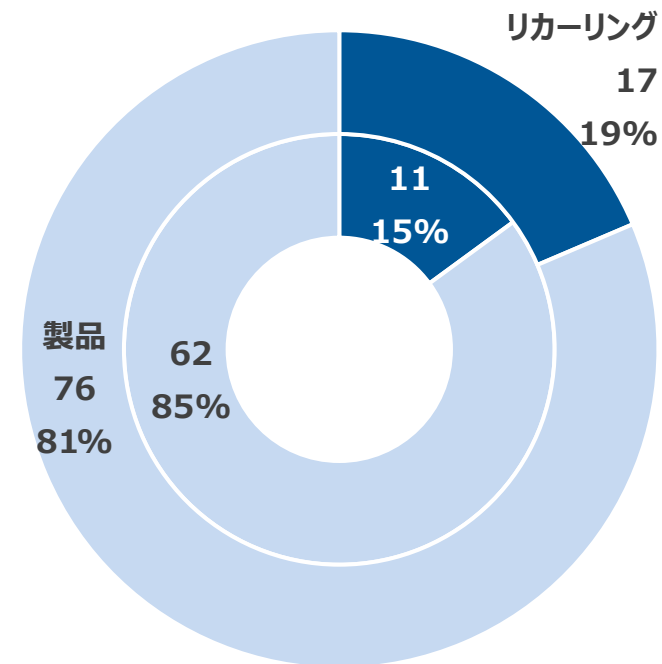
計測



医用



産業／TMP



※リカーリング売上高（億円）とリカーリング売上高比率（%）を掲載

※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

貸借対照表

■ 2024年6月末総資産 6,649億円（2024年3月末から▲91億円）

(億円)		
	流動資産 4,527 (▲142)	流動負債 1,414 (▲171)
		固定負債 235(+4)
		純資産 4,999(+76)
	総資産6,649億円	
	無形固定資産 235 (+54)	
	有形固定資産 1,196 (+10)	
	投資その他資産 691 (▲13)	
	負債・純資産6,649億円	

資産

流動資産 ▲142億円

- 現預金減少 ▲149億円（配当金支払いなど）

無形固定資産 +54億円

- のれん増加 +52億円（Zef社買収など）

負債・純資産

流動負債 ▲171億円

- 買掛金減少 ▲114億円

純資産 +76億円

02 2024年度通期業績予想

- 地政学リスクの継続、インフレなどの影響を受け、為替を含めて先行き不透明な状況が続くと予想
⇒ ヘルスケア、グリーン、マテリアル、インダストリーの4領域で需要が拡大している市場に注力し、連続的な成長を実現

ヘルスケア

事業環境	事業環境		施策	施策	
	ライフサイエンス	メドテック		計測	製薬
	- 創薬開発や自国生産強化で製薬市場拡大 - 中国市況の底打ち	- 分析計測臨床市場拡大 - シニアヘルスケア市場拡大 - 中国市況の底打ち		計測	- 製薬：前処理装置を含む自動化システムの拡販 - 北米R&Dセンターを軸とした共創推進 - 中国薬典改定需要の獲得
				計測・医用	臨床：臨床プラットフォーム構築によるリカリング事業強化

グリーン / マテリアル

事業環境	事業環境		施策	施策	
	グリーン	マテリアル		計測	
	- 脱炭素に向けた研究開発進展 - PFAS需要増	- 電池用新素材開発 - 自動車・航空機軽量化新素材開発		計測	- 新エネルギー開発向け新製品の拡販 - PFAS向けアプリケーションの充実 - 電池・モビリティ市場向け試験機の拡販

インダストリー

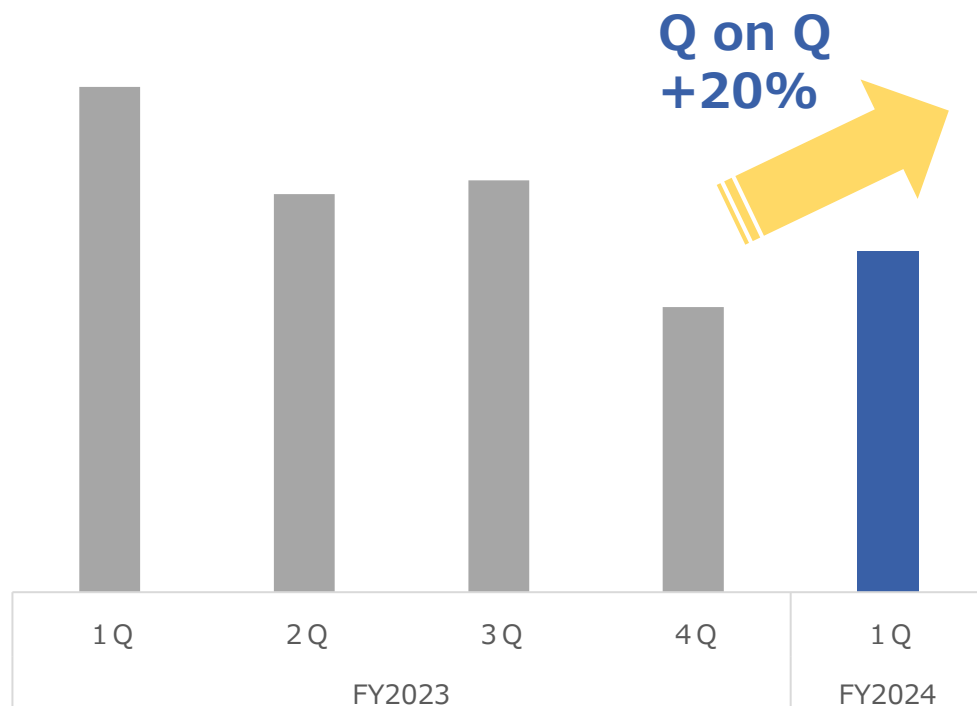
事業環境	事業環境		施策	施策	
				産業	
	- デジタル社会拡大に伴う半導体市況の回復 - カーボンニュートラルの達成に向け加速する物流改革への対応			産業	- 半導体製造装置向け新型TMPの投入と拡販 - 分析計測技術を応用した産業計測市場への参入 - 電動化に適した電動油圧のシステム制御など高付加価値製品の開発と市場投入

- 日本はジェネリックやCDMOの投資が活発、北米は大手製薬を中心に回復傾向、インドは製薬の自国生産強化が継続
- 欧州は臨床向けが増加する一方、官需・アカデミアが欧州議会の影響で予算執行遅れにより減少
- 中国の受注はFY2023 Q4を底に回復傾向（P18参照）

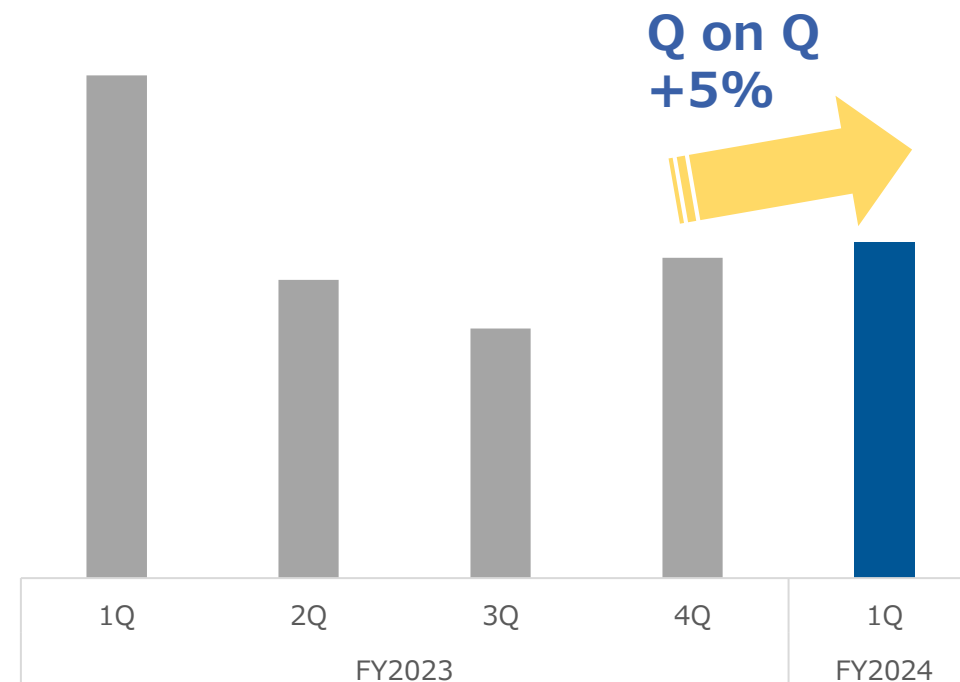
国	受注	概要
連結	+4－6%	（参考）中国除くと+10-13%
日本	+10-13%	製薬向け好調。一部価格改正前の駆け込み受注
海外	▲0-3%	（参考）中国除くと+10-13%
北米	+24-26%	製薬向け増加。特定顧客向け回復
欧州	+0-3%	臨床向け増加。欧州議会選挙影響で官公庁・アカデミア向け予算執行に遅れ
中国	▲20-23%	・製薬向けは底をうつ。アカデミアが前年の特需の反動などで大きく減少 ・前四半期比（1～3月との比較）では+20%と回復傾向
インド	+20-23%	製薬向け好調が継続

- 全体の受注はFY2023 4Qを底にFY2024 1Qは前四半期比で20%増加
- 製薬向け受注はFY2023 3Qを底に2四半期連続で回復、FY2024 1Qは前四半期比で5%増加

中国計測 受注額四半期推移



中国計測 製薬向け受注額四半期推移



- 『大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画』によりアカデミアを中心に下期売上高に貢献
- ヘルスケア領域では薬典改訂、臨床向け需要が増加。グリーン領域では新汚染物質規制強化で需要が増加

政府支援策

「大規模な設備更新と消費財の買い替えを推進する行動計画」

- ・ 7月に入り、アカデミアを中心に一部の案件で予算承認、8月以降入札の見通し
- ・ 年末にかけて年内予算が執行されるため3Qの入札案件は更に増加

「医療サービス向上に向けた補助金」

- ・ 臨床重点専門科の建設、医療サービス能力向上構築プロジェクトなどを実施

ヘルスケア/製薬
FY2025 薬典改訂

- ・ 追加収載される禁止農薬などの分析メソッド及び、ソリューション開発を強化
- ・ FY2024 4Qから一部業績貢献を期待

ヘルスケア/臨床

- ・ OEMパートナー7社との協業により、臨床LCMSプラットフォーム構築による拡販

グリーン

- ・ 新汚染物質管理行動計画の実施による、PFAS向けLCMSの拡販
- ・ 全国の水素プロジェクト、EV・リチウム電池向け需要拡大に伴う、GCや試験機などの拡販

2024年度通期業績予想

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

■ 期初予想から変更なし

売上高	5,250 億円	前年同期比	+3 %
営業利益	760 億円	前年同期比	+4 %
営業利益率	14.5 %	前年同期比	+0.3 pt
当期純利益	580 億円	前年同期比	+2 %

為替		為替感応度		研究開発費		設備投資		減価償却	
米ドル：145円 前年同期比（+0%） ユーロ：155円 前年同期比（▲1%）		売上高：米ドル 15億円 営業利益：5億円		ユーロ 3億円 1億円		前年同期比 280 億円 + 65 億円		前年同期比 280 億円 + 55 億円	
								前年同期比 200 億円 + 14 億円	

2024年度通期セグメント別業績予想

■ 期初予想から変更なし。各セグメントで成長分野、地域で売上高を拡大し、連続的な成長を目指す

FY2024 通期予想

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2023	FY2024 予想	前期比		FY2023	FY2024 予想	前期比		FY2023	FY2024 予想	前期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	3,383	3,420	+37	+1%	575	600	+25	+4%	17.0%	17.5%	+0.5pt
医用機器	723	760	+37	+5%	48	60	+12	+26%	6.6%	7.9%	+1.3pt
産業機器	654	680	+26	+4%	72	80	+8	+11%	11.0%	11.8%	+0.8pt
航空機器	295	350	+55	+19%	37	30	▲7	▲19%	12.6%	8.6%	▲4.0pt
その他	65	40	▲25	▲38%	10	15	+5	+44%	11.4%	23.1%	+11.7pt
調整額	-	-	-	-	▲15	▲25	-	-	-	-	-
合計	5,119	5,250	+131	+3%	728	760	+32	+4%	14.2%	14.5%	+0.3pt

03 トピックス

- ・新製品（計測）
- ・新製品・ニュース（医用）

- 「分析が不慣れな人でも簡単に操作をしたい」というニーズに対し、簡単操作で安定的にデータが取得できるLCMSの新製品を発売

ヘルスケア

グリーン

高速液体クロマトグラフ 質量分析システム 「LCMS-TQ RXシリーズ」



<特長>

- 新開発のイオン源の搭載 / 独自の技術で汚れ成分除去
- 全自動診断/校正
- 長期安定稼働によるラボの効率向上
- 消費電力を従来比30%削減

- 「抗体医薬の開発における前処理工程を短縮したい」というニーズに対し、業務の安全性や効率アップ、属人性を排除した自動前処理装置を発売

ヘルスケア

抗体糖鎖自動前処理装置 「MUP-3100」

*住友ベークライト(株)と共同開発



<特長>

- 煩雑で手間のかかる「前処理」工程を自動化
- 作業時間を2日間から約6時間に短縮
- 抗体医薬品の研究/開発、品質管理の迅速化に貢献

- フランスのトタルエナジーズ社とポー大学、スペインのオビエド大学と共同開発した、世界初のバイオ燃料成分特定可能な新製品
- バイオ燃料の分析手法の国際標準化を目指す

グリーン

元素選択式ガスクロマトグラフ質量分析計 「ELEM-SPOT」を発売

世界初



元素選択式GCMS
「ELEM-SPOT」

<特長>

- バイオ燃料の品質に影響する成分の特定が可能になり、バイオ燃料普及を支援
- 数時間かかっていた作業を80%以上短縮

- 農研機構の特許を活用し、温室効果ガスの主要3成分の同時分析が可能なガスクロマトグラフを発売

グリーン

「温室効果ガスアナライザー」を発売



温室効果ガスアナライザー

<特長>

- 一斉分析が困難な二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素を同時に分析・測定
- 温室効果ガスが必要な農業分野などあらゆる分野に分析データを提供

- 診療放射線技師および被検者の負担軽減を狙い被検者の動きを検知する光学カメラを搭載したX線一般撮影システムを発売

ヘルスケア

X線一般撮影システム 「RADspeed Pro SR5 Version」

<特長>

- ・ 被験者の動きを観察でき、無駄な撮影を排除し、検査業務を効率化



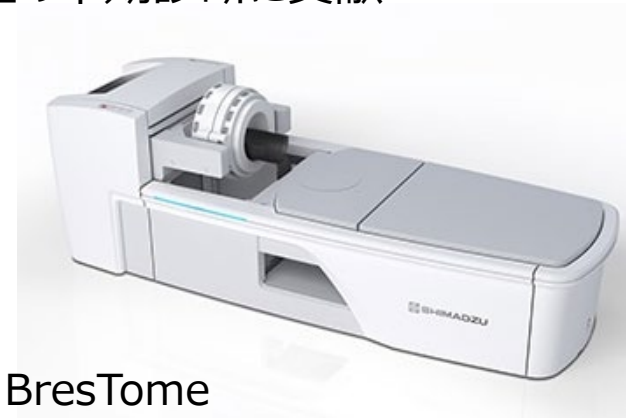
- 「BresTome」が米FDA認証を2024年5月に取得（脳研究や各種神経変性疾患の診断を支援）

ヘルスケア

頭部と乳房検査用TOF-PET装置 「BresTome」が米FDAの認証を取得

<特長>

- ・ 生体活動の微細な変化や詳細な分布を可視化
- ・ がんや認知症の早期診断に貢献



BresTome



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

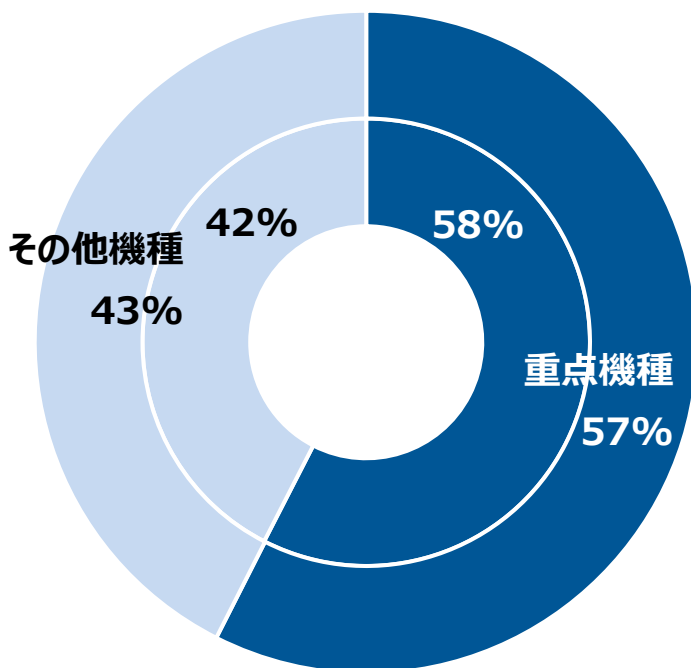
補足資料

	単位：億円	第1四半期(4月-6月)		前年同期比	
		FY2023	FY2024	増減額	増減率
業績	売上高	1,092	1,169	+77	+7%
	営業利益	132	110	▲23	▲17%
	営業利益率	12.1%	9.4%	▲2.8pt	
	経常利益	157	137	▲20	▲13%
	親会社株主に帰属する当期純利益	111	100	▲11	▲10%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	137.40	155.93	+18.53	+13%
	ユーロ(円)	149.50	167.93	+18.43	+12%
	研究開発費	50	68	+19	
	設備投資額	57	42	▲15	
	減価償却費	45	48	+3	

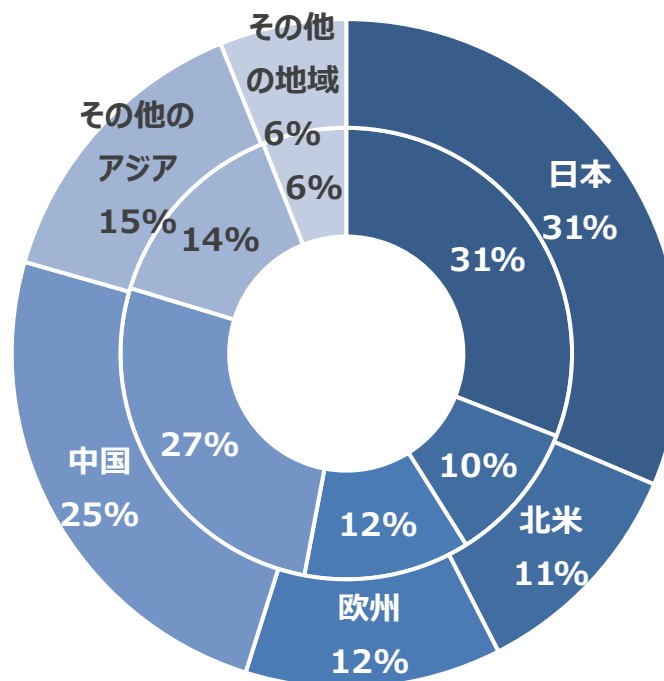
計測機器/各種売上高構成比率（1Q）

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

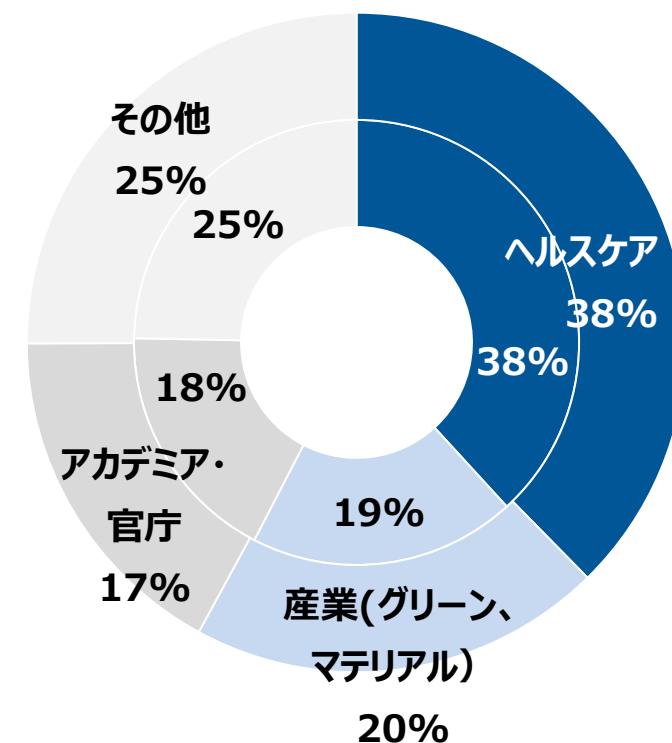
機種別



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

- 重点機種
- LC：日本、北米、インドで医薬向け増加。中国で大幅減だがQonQでは増加
MS：日本で医薬向け、欧州で臨床向け増加。中国で大幅減だがQonQでは増加
GC：日本、欧州でグリーン向け増加

為替影響を含む	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
重点機種 全体	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%	+12%	▲2%	+10%	+3%
	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%	+6%	+2%	+7%	+3%

為替影響を除く	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
重点機種 全体	▲9%	▲2%	▲5%	+14%	▲0%	+12%	+8%	+7%	▲10%	+4%	▲6%
	▲8%	+3%	+3%	+13%	+3%	+11%	+6%	+2%	▲4%	+3%	▲5%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高

単位 億円	FY2022	FY2023	FY2024	前年同期比		概況
				増減額	増減率	
日本	209	221	232	+11	+5%	・医薬向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加 ・エネルギー開発を中心に幅広い分野でガスクロマトグラフが増加
海外	408	493	506	+13	+3%	・海外売上高比率は横ばいの69%
北米	71	72	82	+10	+13%	・医薬向けで液体クロマトグラフが増加 ・特定顧客向けの液体クロマトグラフが回復基調
欧州	71	85	91	+6	+8%	・臨床検査向けで液体クロマトグラフや質量分析システムが増加
中国	145	191	181	▲9	▲5%	・医薬、受託分析市場の悪化により、液体クロマトグラフや質量分析システムが減少 ・前年のアカデミアに対する政府支援策の反動減
その他のアジア (インド除く)	62	69	66	▲2	▲3%	・韓国で大口案件の反動で質量分析システムが減少
インド	26	34	40	+7	+20%	・医薬、受託分析向けで、液体クロマトグラフが増加 ・ガスクロマトグラフが新製品効果で増加

計測機器/地域別売上高前年同期比

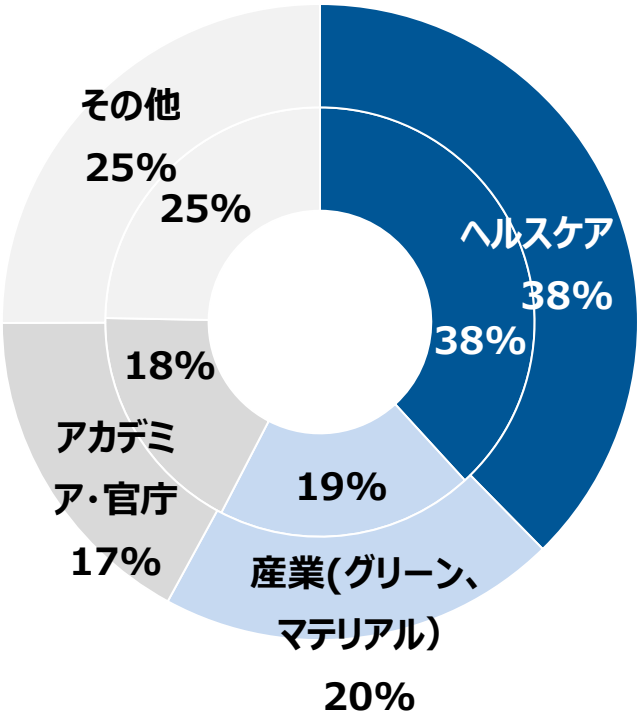
- 日本：製薬向けにLC、MS、グリーン向けに試験機増
- 海外：中国が製薬向け、アカデミア特需の反動で大幅に減少したが、QonQでは増加

為替影響を含む	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%
北米	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%	▲4%	+7%	+2%	+13%
欧州	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%	+21%	+10%	+19%	+8%
中国	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%	+6%	▲21%	+1%	▲5%
その他のアジア	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%	+20%	+11%	+17%	+4%
インド	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%	+32%	+8%	+20%	+20%

為替影響を除く	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%	+6%	+5%	+5%
北米	▲16%	▲9%	▲3%	+6%	▲5%	▲4%	▲1%	▲8%	▲4%	▲4%	▲0%
欧州	+8%	▲8%	+7%	+19%	+6%	+11%	+13%	+10%	▲3%	+8%	▲4%
中国	▲28%	+9%	▲14%	+31%	▲3%	+24%	▲9%	+2%	▲31%	▲5%	▲16%
その他のアジア	+20%	+4%	+4%	+6%	+8%	+10%	+15%	+15%	▲0%	+10%	▲7%
インド	+27%	▲2%	+2%	▲6%	+2%	+20%	+9%	+26%	▲4%	+12%	+6%

計測機器/領域別売上高比率（1Q）

市場別売上高構成比



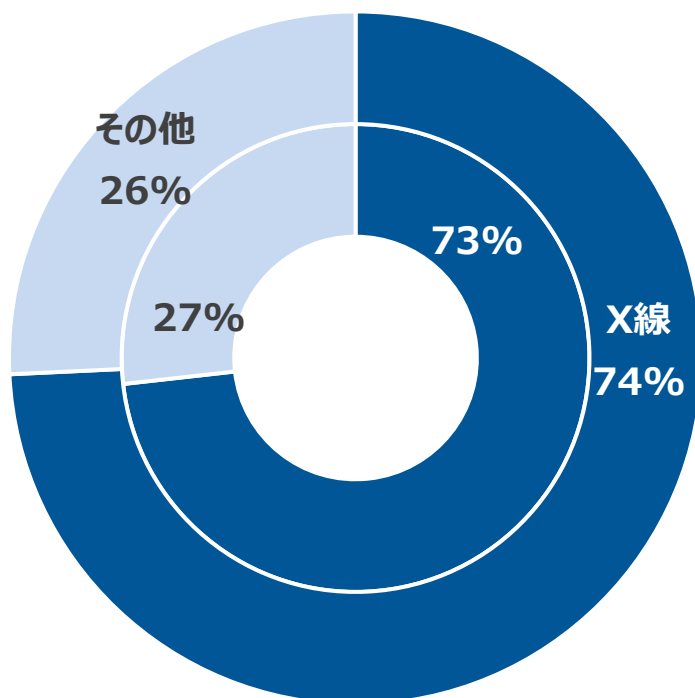
市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期 比	概況
	FY2023	FY2024		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	38%	38%	+1%	・医薬は、日本、北米、インドで増加。中国減少 ・臨床（医療機関）は、北米、欧州で増加
産業 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	19%	20%	+7%	・新素材開発向けに試験機が増加 ・新製品のGC2050が化学向けに増加
アカデミア・官庁	18%	17%	▲2%	・日本と北米は堅調 ・欧州は欧州議会選挙後の予算執行遅れ影響 ・中国は前年の政府支援策の反動

※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

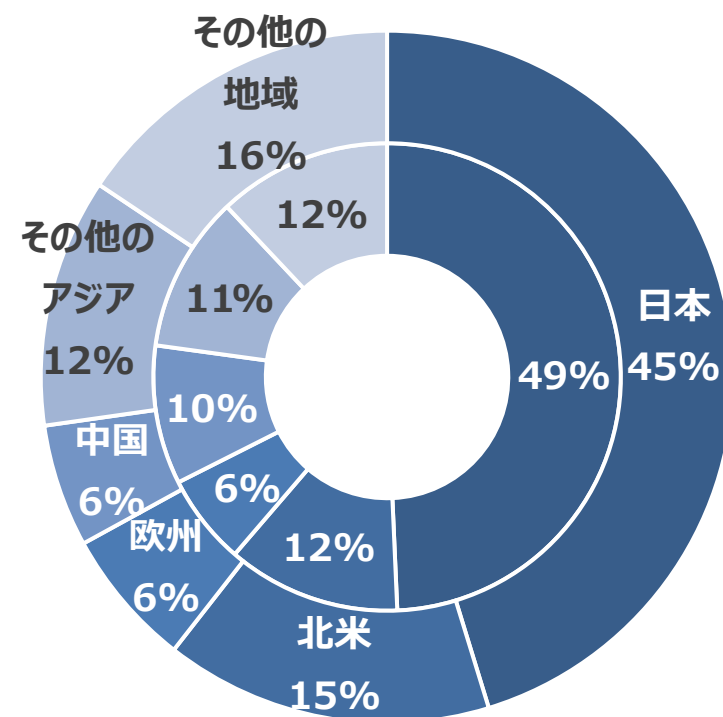
医用機器/各種売上高構成比率（1Q）

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2024実績、内側はFY2023実績を示す

医用機器/地域別売上高

単位 億円	FY2022	FY2023	FY2024	前年同期比		概況
				増減額	増減率	
日本	94	71	70	▲1	▲1%	・新製品の血管撮影システムや一般撮影システムが増加 ・市況回復の遅れによりX線TVシステムが減少
海外	70	73	85	+12	+16%	・海外売上高比率は、55%と前年同期比4pt増加
北米	21	17	24	+6	+37%	・一部の部材調達難が解消し、一般撮影システムが増加 ・近接型X線TVシステムが増加
欧州	8	9	10	+1	+11%	・東欧向けに血管撮影システムが増加
中国	11	14	9	▲5	▲36%	・市況悪化や腐敗防止強化による入札案件の遅れにより X線TVシステムや一般撮影システムが減少
その他の アジア	13	16	18	+2	+15%	・東南アジアで、X線TVシステムが増加

医用機器/地域別売上高前年同期比

- 国内：新製品の血管撮影システムや一般撮影システムが増加したものの、X線TVが減少
- 海外：北米は近接用X線TVが増加。中国は市況悪化や腐敗防止強化による入札案件の遅れにより大幅減

為替影響を含む	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%
北米	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%	▲2%	+0%	▲1%	+37%
欧州	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%	+41%	+0%	+12%	+11%
中国	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%	+7%	▲5%	+15%	▲36%
その他のアジア	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%	+10%	+27%	+3%	+15%

為替影響を除く	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%	▲17%	▲15%	▲1%
北米	▲12%	+22%	▲3%	+11%	+5%	▲23%	+6%	▲6%	▲10%	▲7%	+21%
欧州	+0%	+50%	▲8%	+22%	+13%	+7%	▲18%	+28%	▲11%	+1%	▲1%
中国	▲6%	▲30%	▲16%	+7%	▲12%	+17%	+32%	+3%	▲17%	+8%	▲43%
その他のアジア	▲2%	▲4%	▲11%	+7%	▲3%	+14%	▲31%	+6%	+16%	▲2%	+5%

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP : SPE向けが大幅に増加
- 油圧 : 小型建機向けが軟調に推移
- その他機種 : 自動車用セラミック製造向け工業炉が増加

為替影響 を含む	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%	▲0%	+15%	+3%	+27%
油圧	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%	▲4%	+1%	+3%	▲4%
その他	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%	+10%	+11%	+6%	+29%

為替影響 を除く	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	+11%	+11%	▲1%	▲6%	+3%	▲7%	▲4%	▲4%	+6%	▲2%	+17%
油圧	▲6%	▲4%	▲2%	+7%	▲1%	+9%	+7%	▲6%	▲2%	+2%	▲7%
その他	+7%	+1%	+2%	+17%	+7%	▲4%	+1%	+8%	+6%	+3%	+22%

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の
前年同期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率

- 計測 : 日本・北米で医薬向け、欧州で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用 : 北米で代理店買収によりメンテナンス・サービスが増加
- TMP : 台湾、韓国で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	▲6%	+5%	+21%	+11%	+10%	+10%	+3%	▲4%	▲2%	+1%	+0%
リカーリング比率	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%	37%	34%	36%	41%

医用	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	▲2%	+3%	+0%	+3%	+3%	▲3%	▲7%	+1%	+0%	▲2%	▲1%
リカーリング比率	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%	37%	33%	36%	41%

TMP	FY2022					FY2023					FY2024
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
リカーリング売上高 前年同期比	▲1%	▲6%	+4%	▲17%	▲4%	▲9%	▲8%	+10%	+36%	+6%	+46%
リカーリング比率	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%	18%	17%	16%	19%

※為替影響を除外

産学連携でのイノベーションの創出

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

- 積極的な共創により、革新的な技術・製品の開発、新たなサービスの社会実装に取り組む

ヘルスケア

東北大学

2024年3月

「島津製作所×東北大学 超硫黄生命科学共創研究所」を設置

研究内容

- 生体の老化メカニズムに関連する「超硫黄分子」と呼ばれる物質の特性を明らかに
- 様々な疾患の診断や治療法の確立、健康を増進する機能性食品の開発

当社の役割

- 多くの種類の超硫黄分子を一斉に分析する手法の開発
- 当社製イメージング質量顕微鏡「iMScope」を用いた超硫黄分子の臓器内分布の観察

左から、東北大学の赤池孝章教授、植田拓郎理事、当社社長山本

ヘルスケア

フィリピン高等化学研究所

2024年7月

Philippine Institute of Pure and Applied Chemistry

食品安全と環境分析の共同研究を推進

研究内容

- フィリピン高等化学研究所は、政府関係機関、中小企業等を対象として化学分析、研究、訓練、開発等のサービスを行っている
- 当社アジア子会社（SAP）と同研究所が食品安全と環境分析に関して共同研究を推進

当社の役割

- 「Shimadzu World Lab Network」にPIPACを招待。他の島津の協業者らとの連携を推進
- 製品貸与などにより、食品及び環境汚染物質の高感度分析のための技術支援



調印式の様子